認定看護師（CN）だより

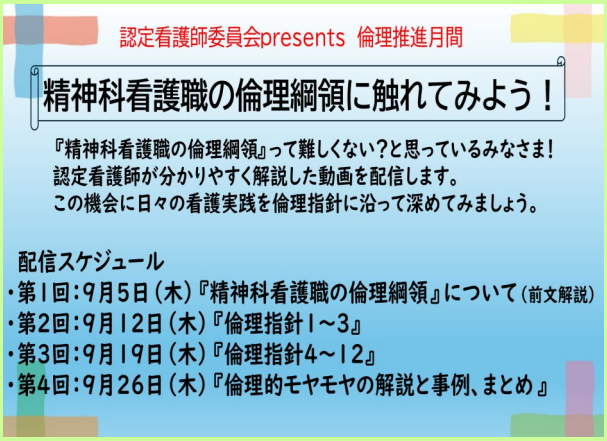
第24号　2025年1月２８日　発行
発行元 ： 認定看護師委員会

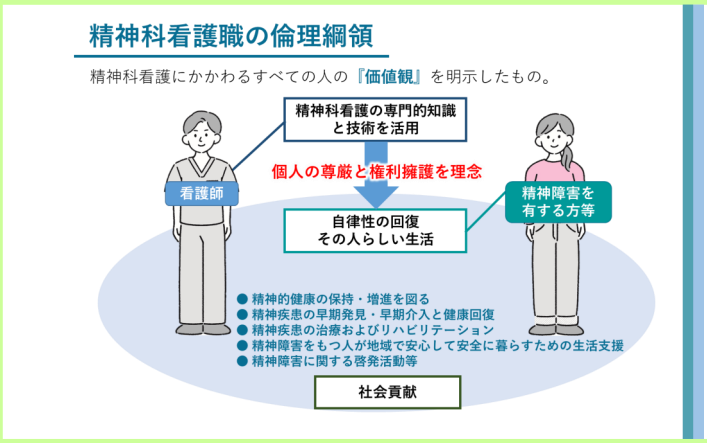
認定看護師の活動報告　今年度の活動内容をご紹介します

倫理推進月間の取り組み

精神医療センターでは毎年9月を倫理推進月間として、各部署で推進に向けた取り組みを企画しています。
今年度、認定看護師委員会では以下の取り組みを企画運営しました。

- 「精神科看護職の倫理綱領」※1の音声解説付スライドを配信
- 「倫理カフェ」※2で、テーマ（精神科病院における虐待防止）に関する講義とグループのファシリテーター





9月26日に開催された倫理カフェの様子

19名の参加がありました。

※1 精神科看護職の倫理綱領とは…

「一般社団法人　日本精神科看護協会」が制定しています。
精神科看護職に求められる「倫理」の指針です。
協会ホームページはこちら →

※2 「倫理カフェ」とは…

倫理推進月間の期間中に、部署を越えて一つのテーマについてディスカッションする集合形式の企画です。倫理について自由に意見交換できる場を大切しながら、毎年開催しています。

企画担当者の青木CN、生山CN、石田CNにインタビューしました！

Q：今回の企画の意図を教えてください

生山：「精神科看護職の倫理綱領」を身近に感じてほしいという思いで企画を考えました。また、4月より精神科病院における虐待通報が義務化されたので、啓発と看護を振り返る目的で「倫理カフェ」の運営に協力しました。

Q：企画を終えた“今”の気持ちを教えてください

青木：これまでの倫理カフェは「看護師が大事にしているもの」などをテーマで取り上げてきました。看護師としての自己肯定感を高める活動も大事ですが、昨今の精神科病院で起きている虐待事件を受け、改めて自己の看護を振り返る必要があると考えました。この一度だけではなく、継続的に振り返る機会が必要な内容だと思います。

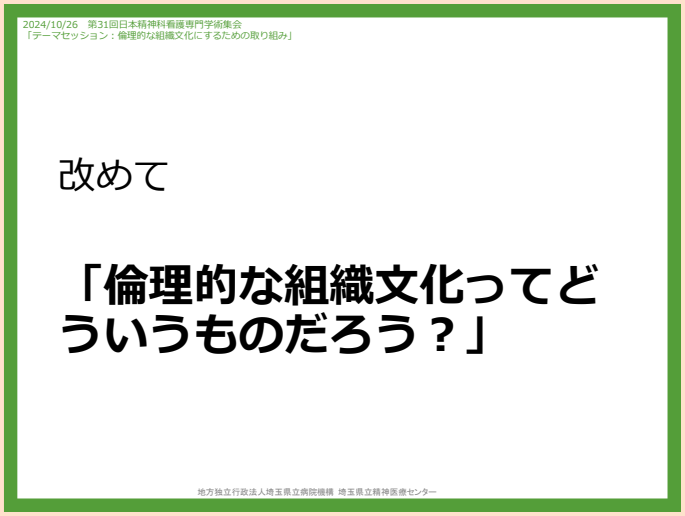
石田：他部署のスタッフと日頃の看護について話しができたのは貴重な時間でした 。

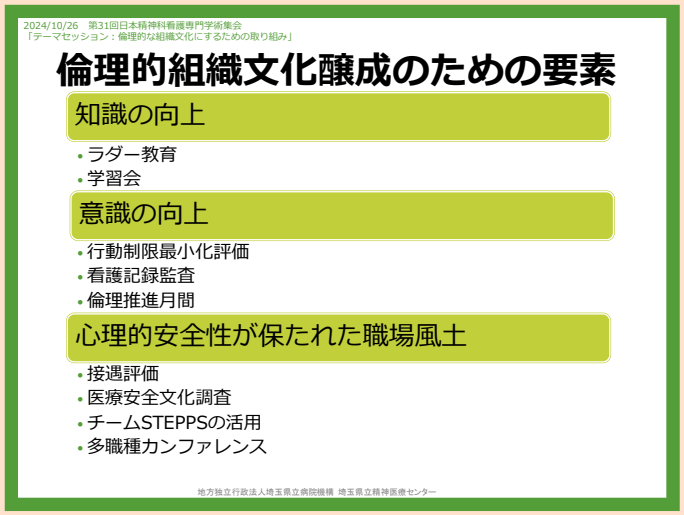
Q：倫理カフェに参加した方の反応はいかがでしたか？

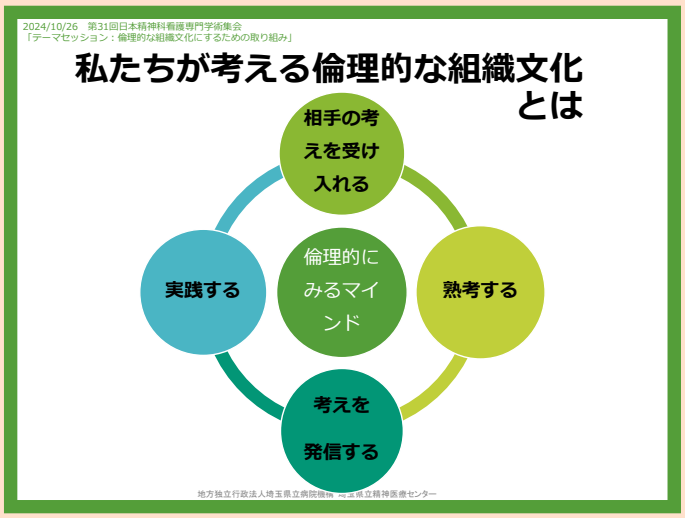
青木：倫理カフェは、講義とディスカッションで構成しました。虐待は、想像以上に身近なこととして理解した方が多かったようです。参加者からは、「ファシリテーターの認定看護師が話しやすい雰囲気を作ってくれた」というご意見もいただきました。様々な看護師経験の方が集まり、活発なディスカッションができました。

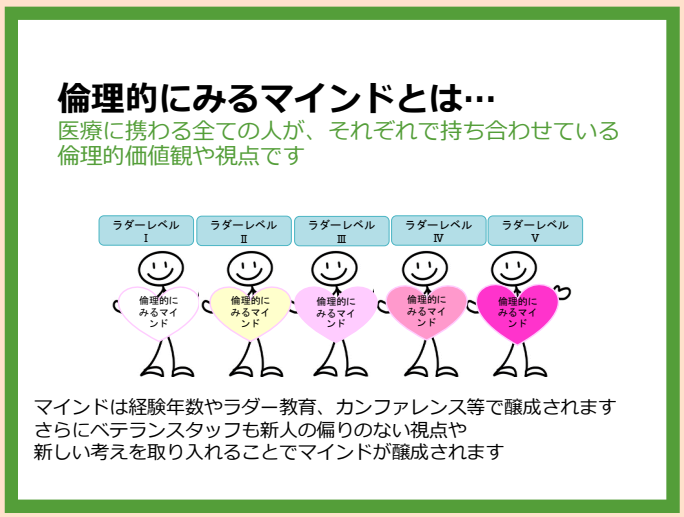
学会のテーマセッション運営

10月26日、27日で開催された「第31回　日本精神科看護専門学術集会in山口」において、テーマセッションの企画運営をしました。テーマセッションとは、1つテーマを設定し、話題提供、参加者との意見交換を計画、運営するものです。テーマは「倫理的な組織文化にするための取り組み」ということで、 当センターが倫理的な視点で物事を捉え、対応できる組織であるために取り組んできたことを発表しました。









登壇した生山CNと小川CNにインタビューしました！

Q：登壇を終えての感想を教えてください

生山：緊張しましたが、これまで以上に患者に寄り添ったより良い看護を目指したいと思いました。予想より聴講者が多くてちょっとびっくりしました。

Q：参加者の反応はいかがでしたか？

小川：後半をディスカッション形式とし、様々な施設の意見も聞くことができる機会となったことで、参加者の満足度に繋げることができました。また、皆同じ問題や課題に向き合っていることが共有でき、参加者の今後の意欲向上に繋げることができたと思います。

Q：次回への意気込みはありますか？

生山：今回のテーマは、院内活動として取り組むことも考えたいと思います 。

小川：今後も倫理等の取り組みを学術集会を通して積極的に伝えることで、センター全体の看護の質向上を目指したいです。テーマセッションの内容をスタッフにフィードバックすることで、スタッフのモチベーションも高められるよう、認定看護師として働きかけることも私たちの重要な役割だと思います。

精神科認定看護師にお気軽にご相談ください

埼玉県立精神医療センターには9名の精神科認定看護師が在籍しています。院外からのご相談にも対応しております。どうぞお気軽にご相談ください。